

ニュースレターQ

天保8年(1837年)創業 / 第232号(2026年11月1日発行)

スギウラ株式会社

〒370-0006 群馬県高崎市間屋町 2-2-8

【TEL】027-361-5808 (代) 【FAX】027-361-1272

【X (旧 Twitter)】@sugiura_maruq

【HP】<https://www.kamisugiura.co.jp/>

【MAIL】water@kamisugiura.co.jp

【WebShop】<https://kaminoginzadori.com/>

今月の用紙：OK カイゼル さくら 80K

ようやく暑さが収まり過ごしやすい季節となりました。皆様、体調を崩されていませんか？

さて、私は趣味で茶道を習っています。静かな空間でお点前だけに集中できる心地良い時間です。またお茶会にお客として参加するのも新しい発見があり楽しいものです。先日もお茶会に参加するため、伊勢崎市まで行って参りました。今回のお茶会は4流派が集まり、その他に高校生が学校ごとにお茶席を用意してお点前していました。私は表千家の学校席と習っている大日本茶道学会の席に入りました。

普段は他流派のお点前を見る機会はなかなか無いので、お茶会に参加する度に流派の違いが発見できます。例えば、表千家はハッキリと分かるくらいにすり足で歩きますし、お茶をいただく前のお茶碗の回し方も回す向きや回数が違います。このように一つの動きを取っても全く異なっていて、流派ごとの特徴がよく分かります。

また、流派が同じでも季節やお道具によってお点前が少しずつ変わります。私はまだお稽古を始めて1年経っていないので基本のお点前を習っていますが、お茶会ではお道具もお点前も違うものが見られたので、普段習っている大日本茶道学会のお点前も見えて大変興味深かったです。

もしご興味がございましたら、まずはお茶会に参加されてみてはいかがでしょうか。 (m)

IT 関連商材のご案内

この度、IT機器の販売やソフトウェア開発、コンピュータインフラ構築を軸に企業や組織が抱える課題を解決している「**東京アプリケーションシステム株式会社**」と協業をすることとなり、新たにIT関連商材を取り扱うこととなりました。今回はその中でおすすめの**Notta**と**KING OF TIME**の2商品を紹介したいと思います。

- ・ **Notta** …AI を利用した文字起こしソフトです。スマホ・タブレットだけでなく Zoom などのオンライン面談や会議にも対応しています。聞き取った声を瞬時に文字化し、発言やその内容、ToDo を AI が自動で整理します。だれがどんな発言をしたかを自動で判別して記録の作成も行え、記録用途別のテンプレートもあります。会議の議事録や介護現場ではカンファレンスの記録に重宝します。さらに、58言語に対応しており、2か国語の同時文字起こしや翻訳もできるので外国人とのやり取りもスムーズにできます。使い心地を知りたい場合は、無料トライアル(1～2週間程度)を利用することができますので、担当営業までお気軽にお申し付けください。
- ・ **KING OF TIME** …クラウドを利用した勤怠管理システムです。早番・遅番・夜勤が入り混じる24時間体制や多拠点運営でも、打刻からシフト・集計・給与までをクラウドで自動連携し、集計や修正、確認の手間を大幅に減らせます。スマホ・GPS・ICカード・顔認証など現場に合わせた様々な打刻方法をはじめ、シフトと実績を一元管理し、残業もリアルタイムで集計し超過があった場合には通知もします。30日間の無料体験をご用意していますので、担当営業までお気軽にお申し付けください。

この他にも、介護施設向けのインカムや見守りカメラやなどの商品もございます。今後も職場での不便を解決する、IT商材がありましたら折を見て紹介させていただきます。

(お)

草野球

私は、趣味で草野球をやっているのですが、草野球の魅力と言えば、何と言っても自由度の高さです。高校野球や、プロ野球、メジャーリーグは、日頃の練習を欠かさず、試合での勝利という目的に向かって努力をしています。草野球では、練習と試合共に緩く趣味の一貫としてやっているのです。勝敗も勿論大事ですが仲間と楽しくやるのが一番で、これからも継続していきたいです。

因みに私のポジションはサードですが、これは内野も外野も全体に共通することなのですが、ピッチャーが一球一球投げる度にポジショニングを変更し、とっさの判断が試されます。それも野球の楽しいところでもあります。野球に限らず日常生活や仕事でも、常に頭を使って行動を意識していきたいです。 （tsu）

頭の体操

頭の体操です。昨今、文法が乱れ、文法的に間違っている言い方が一般化しています。以下の文章で正しい言い方のものはどれでしょうか？

1. その質問には答えられません。
2. 全員が入場次第開始します。
3. 今期の成績は後輩に抜かれました。

最後の一葉

9月の間じゅう降り続けた長雨もようやく収まり、秋晴れの空が広がる季節となりました。今年は久方ぶりに秋らしい涼しさが戻ってきたように感じますね。

さて、今回も先月に引き続きまして「読書の秋」にちなみ、私の好きな小説をご紹介します。

今回ご紹介するのは、オー・ヘンリー作の短編小説『最後の一葉 (The Last Leaf)』です。日本語訳で十数ページほどの短編ですが、作品全体を読んだことがなくとも、「あの葉がすべて散る時に私も死ぬの」というような有名な一節は、多くの方がご存じかと思います。

まだこの作品を読んだことがない方は、なにやら病弱な深窓の令嬢が思い煩っている、耽美的で高尚な作風を想像されるかもしれません。しかし実際に読むと、登場人物たちは決して裕福なわけではありませんし、文章自体も軽やかで親しみやすい雰囲気であることに驚かれることでしょう。

私はこの作品を読み返すたび、「成し遂げる」ということについて考えます。「まだ」何事も為せず、しかし「いつかは」何事かを成したいと願っている人に、是非これを読んでみてほしいと思います。小中学校の教科書にも採用されている作品ですが、大人になってから読むと、若い頃とはまた違った感想を抱けることでしょう。何かを成し遂げるのに、遅すぎることなどはきかないのです。

『最後の一葉』が収録されている文庫本は800円程度、またはインターネット上でも日本語訳を読むことができます。(さ)

頭の体操 解答

正解は3です。

1の「答えれない」は、ら抜き言葉と言われ多くの方が使っていますが、「答えられない」が、文法的には正しい表現です。

2の「入場次第」は、「～次第」は名詞には付かず、動詞の連用形に付くのが決まりなので、「入場し次第」が正しい言い方です。

3「抜かれる」が本来の言い方で、最近では「抜かされる」を使う人が増えています。